

2018年12月14日

「ミシュラン・グリーンガイド 日光国立公園 WEB版」公開

**鉄道事業者として初めてミシュラン・グリーンガイドと連携し
日光・鬼怒川エリアの魅力を世界へ発信しました！！**

～中禅寺湖クルーズや明智平ロープウェイ等の東武グループ施設も掲載されました～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、世界各地の魅力を伝える旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド」を発行するミシュラングループが2018年12月12日（水）に公開した「ミシュラン・グリーンガイド 日光国立公園WEB版」（仏語、英語）について、鉄道事業者として初めて連携、取材協力を行い、日光・鬼怒川エリアの魅力を世界へ発信しました。

「ミシュラン・グリーンガイド」は同社による独自の調査方法により、外国人旅行者にお勧めしたい場所を掲載し、その中でも特にお勧めしたい場所を星なしから三つ星までの星の数で表現し、各地の魅力をお伝えする旅行ガイドです。

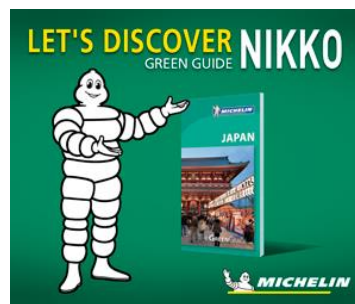
今般、「ミシュラン・グリーンガイド日光国立公園 WEB版」の公開に伴い、当社としても重点エリアとして位置付け、インバウンドの取り組みを行っている日光・鬼怒川エリアの魅力を世界に発信するために、鉄道事業者として初めて取材に協力し、中禅寺湖クルーズや明智平ロープウェイなどの東武グループ施設が掲載されるとともに、日光・鬼怒川の魅力を世界に発信しました。

当社では、引き続き沿線観光地へのインバウンド増加率NO. 1を目指し、沿線の観光資源が持つ、独自の歴史・伝統・文化と自然を尊重しつつ、地域とつながり、お客さまを惹きつける様々な取り組みを通じ、世界と沿線をつなぎ、観光交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。

詳細は別紙日本ミシュランタイヤ株式会社プレスリリース「ミシュラン・グリーンガイド 日光国立公園 WEB版」を公開のとおりです。



△今回掲載された中禅寺湖クルーズ



©MICHELIN

以上

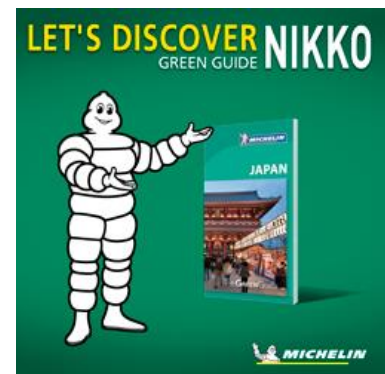
「ミシュラン・グリーンガイド日光国立公園 WEB版」を公開

～日光国立公園、戦場ヶ原のハイキング（★★）

中禅寺湖クルーズ（★）など新規24カ所

総計41カ所の観光地・観光施設を掲載～

日本ミシュランタイヤ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：ポール・ペリニオ）は、日本を訪れる外国人観光客向けに日光国立公園の観光地・観光施設を紹介する「ミシュラン・グリーンガイド日光国立公園 WEB版」（英語、仏語）を12月12日より公開いたします。既に刊行されている書籍「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」改訂第5版に掲載されている日光の観光地・観光施設に、ミシュラン・グリーンガイド編集者が新たに取材した24カ所を加え、総計41カ所を紹介しています。



©MICHELIN

WEB版では、書籍では紹介しきれなかった東照宮や中禅寺湖の周辺、奥日光、今市、鬼怒川などの豊かな自然が魅力の観光地や興味深い体験ができる観光施設を、より広域に、余すところなく紹介しています。

ウェブサイトのアドレス：

仏語 <https://voyages.michelin.fr/asia/japon/kanto/parc-national-de-nikko>

英語 <https://travelguide.michelin.com/asia/japan/kanto/nikko-national-park>

WEB版で今回公開する情報の一部は、書籍「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」改訂第6版（発行日未定）に掲載予定です。

取材を担当したフランスのミシュラン・グリーンガイド編集者は、感想を次のように述べています。

「今回、観光客がこぞって訪れる神社仏閣以外の場所を取材することができ、とても幸運でした。外国人観光客の多くは、旅行ガイドで紹介されている主要観光地の神社仏閣を訪れ、その他には気づくことがありません。しかしながら、中禅寺湖や戦場ヶ原などは散策に必要なインフラが整備されており、中心地から離れた場所にも、観光客が今後増えるポテンシャルを大いに秘めている観光地がたくさんあります。

日光には、居心地の良い宿泊施設や発達した交通手段もあります。標高の高いところには、古き良き歴史が残っています。都心から離れ、豊かな自然と魅力にあふれる日光のさまざまな観光地・観光施設に、ぜひ足を運んでもらいたいと思います」

日本ミシュランタイヤ株式会社の代表取締役社長 ポール・ペリニオは、次のように述べています。

「ミシュラン・グリーンガイドの編集者は、多くの外国人観光客が訪れる日光を再取材し、ヨーロッパの視点で新たな魅力ある場所を発見しました。日光の奥深い歴史や文化はもちろん、魅力的な自然があり、素晴らしい体験ができる観光地が紹介されています。日本を訪れる外国人観光客が年々増加している昨今、日光の魅力を英語と仏語でグローバルに発信している今回のWEB版は、インターネットを介して、多くの方に手軽に情報を入手してもらえらるものと期待しています。WEB版の公開をきっかけに、ますます多くの観光客が日光を訪れ、新しい体験をしていただくサポートができればうれしく思います」

「ミシュラン・グリーンガイド日光 WEB版」の事業は日光への外国人観光客誘致を推進する「東武グループ」の輸送協力および取材時のサポートにより実現しました。

掲載地一覧は次の通りです。

掲載地名（日本語）	掲載地名（英語）	新規掲載	評価
日光国立公園	Nikko National Park	NEW	★★
戦場ヶ原のハイキング	Hike on the Senjogahara Marshland	NEW	★★
日光杉並木街道	Nikko Suginami-ki michi - Nikko Cedar Avenue	NEW	★
中禅寺湖展望台	Chuzenji Lake Observation Deck	NEW	★
華厳の滝	Kegon Waterfall	NEW	★
中禅寺湖クルーズ	Cruise on Lake Chuzenji	NEW	★
湯の湖	Lake Yunoko	NEW	★
明智平ロープウェイ	Akechi-daira cable car	NEW	★
イタリア大使館別荘記念公園	Italian Embassy Villa Memorial Park	NEW	★
日光金谷ホテル歴史館	Kanaya Hotel historic building	NEW	
中禅寺湖畔ボートハウス	Lake Chuzenji Boat House	NEW	
竜頭ノ滝	Ryuzu Waterfall	NEW	
湯滝	Yudaki Waterfall	NEW	
日光真光教会	Nikko Anglican Church	NEW	
聖なる開山堂（輪王寺）	Kaizando Sacred Hall	NEW	
日光金谷ホテル	Nikko Kanaya Hotel	NEW	
日光自然博物館	Nikko Natural Science Museum	NEW	
ミニチュア公園、東武ワールドスクウェア	Tobu World Square Miniature Park	NEW	
小田代ヶ原展望台から竜頭ノ滝までのハイキング	Hiking trail from the Odashirogahara observatory platform to Ryuzu Waterfall	NEW	
中禅寺湖へ続くいろは坂	Iroha-zaka Access Road to Lake Chuzenji	NEW	
SL 大樹	Taiju Steam Train	NEW	
英国大使館別荘記念公園	British Embassy Villa Memorial Park	NEW	
明治の館	Meiji-no-Yakata Villa	NEW	
奥日光湯元温泉	Yumoto Onsen	NEW	
日光	Nikko		★★★★
陽明門（日光東照宮）	Yomei-mon Gate at Toshog- gu		★★★★
日光東照宮	Toshog- gu Shrine		★★★★
憾満ヶ淵の散策	Kanman-ga-Fuchi Walk		★★

輪王寺	Nikko-zan Rinno-ji Temple		★★
大猷院	Taiyu-in		★★
二荒山神社	Nikko Futarasan-jinja		★
日光東照宮美術館	Tosho-gu Museum of Art		★
五重塔（日光東照宮）	Tosho-gu Five-Storey Pagoda		★
神橋	Shin-kyo Bridge		★
唐門と本社（日光東照宮）	Kara-mon Gate and Honsha (Main Shrine) at Tosho-gu		★
表門と最初の前庭（日光東照宮）	Omote-mon Gate and first courtyard at Tosho-gu		★
日光田母沢御用邸記念公園	Nikko Tamozawa Imperial Villa Memorial Park		★
小杉放庵記念日光美術館	Kosugi Hoan Museum of Art		
日光東照宮宝物館と霊廟	Tosho-gu Treasure Museum and Mausoleum		
神輿舎（日光東照宮）	Shinyosha at Tosho-gu		
薬師堂（日光東照宮）	Yakushi-do Temple at Tosho-gu		

- このリストは、フランスで編集・発行している「ミシュラン・グリーンガイド日光 WEB 版」の掲載地一覧を手作業でまとめたものです。表記の誤り、記載漏れなどが判明した場合、予告なく更新をさせていただきますので、あらかじめご了承下さい。
- このリストは、報道機関の方々が特定の掲載地点について、掲載されている事実・星の数などを参照していただくための資料として作成しております。本リスト全体の転載は堅く禁じます。

「ミシュラン・グリーンガイド」とは

ミシュラン・グリーンガイドは、飲食店・レストランやホテルを評価するミシュランガイドと同様、フランスのタイヤメーカーであるミシュランが人々の快適なドライブをサポートするために100年以上前から発行しています。現在は、ドライブにとどまらず、幅広い旅行者に対して旅の目的地を提案し、人や物のモビリティに貢献しています。

1900年8月にフランスで初めて発行されたミシュランガイドは当初、ドライバーのために作成され、タイヤの使い方と修理方法、自動車修理工場のリスト、市街地図、ガソリンスタンド、ホテルやレストランなどの実用的な情報が掲載されていました。ミシュラン・グリーンガイドは1926年、ブルターニュ編の発行により、旅行ガイドとして誕生しました。ミシュラン兄弟は、自動車の活用を促進し、ひいてはタイヤ市場を発展させていくために、旅をより安全で楽しいものにする、つまりモビリティの向上を目指しました。これは現在もミシュランの地図、ガイドなどの各種刊行物の共通の目標になっています。

ミシュラン・グリーンガイドは、好奇心に満ちた旅行者たちが、訪れる土地をよりよく理解し、充実した旅を楽しむような情報を掲載し、豊かな自然や多彩な文化に触れることができる興味深い観光地を紹介しています。掲載地は旅行者へのお薦め度という観点で、星の有無と数で示しており、星は「わざわざ旅行する価値がある（★★★）」、「寄り道する価値がある（★★）」、「興味深い（★）」を意味します。この評価は、「ミシュラン・グリーンガイド」独自の9つの基準に従って決められます。

1. 旅行者がその観光地を訪れた時に受ける第一印象
2. その場所の知名度
3. 文化財の豊かさ、レジャーの充実ぶり
4. ユネスコの世界遺産などの公的評価
5. 芸術品や史跡の固有の美術的価値
6. 美観
7. 作り物ではない本物としての魅力と調和

8. 旅行のしやすさと利便性（施設整備、アクセス、維持管理など）
9. 旅行者の受け入れの質

ミシュラン・グリーンガイドは、客観的で正確、明瞭でわかりやすい情報を提供し、旅行者をサポートすることを常に目指しています。現在 404 種類のガイドが計 10 か国語で展開されています。2009 年から外国人観光客に向けて日本の魅力をお伝えする書籍「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」が発行され、約 2 年おきに改訂版を出版して掲載地を増やしています。

ミシュランについて

ミシュランは、フランス クレルモン＝フェランに本社を置くタイヤ製造の世界的なリーダーです。11万4,000人以上の従業員を擁し、171カ国で持続可能なモビリティの実現のため、お客様にとって最適なタイヤ、サービス、ソリューションを提供しています。17カ国70製造拠点で、約1億9千万本のタイヤを製造（2017年実績）するとともに、デジタルサービス、旅行ガイド、ホテル・レストランガイド、地図など、皆様のモビリティをユニークで充実した体験にするお手伝いや、モビリティ業界のための高い技術を提供しています。詳しくはwww.michelin.comをご参照ください。

日本のミシュランについて

ミシュランの日本における歩みは、1964年9月17日、東京オリンピック開幕の23日前に開通した、浜松町・羽田空港間に新設されたモノレールへのミシュランスチールラジアル“X”タイヤの採用から始まりました。日本ミシュランタイヤの歴史は東京オリンピックとともに始まったといっても過言ではありません。日本ミシュランタイヤは、ミシュラングループの基礎研究と、日本・アジア地域の乗用車、ライトトラック用タイヤの開発を担うとともに、モーターサイクル用、乗用車・ライトトラック用、トラック・バス用から、航空機用、建設機械・農業機械用まで、幅広いレンジのタイヤを取り扱い、ガイドブック事業、ライセンス事業も展開しています。